

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 永田 瞬	(学部) 経済学部
1 重要事項	
(1) 研究：科研費による繊維産業調査	
①繊維産業調査	
・2013年4月、6月、7月、8月の4回、群馬県桐生市の繊維産業集積の調査を行った。群馬経済研究所、桐生地域地場産業振興センター、桐生織物協同組合などを訪問し、インタビューを行った。また産地比較の観点から、2013年12月に富山県富山市にある北陸経済研究所を訪問し、聞き取り調査を行った。	
・2013年9月、2014年2月に岡山県倉敷市を訪問し、学生服メーカー、副資材メーカー、特殊縫製加工を担う中小企業、外国人研修生を受け入れている企業・協同組合にインタビューを行った。	
・調査研究は2つの文科省科研費（①若手B、研究課題番号24730428、研究代表者・永田瞬、②基盤C、研究課題番号23530692、研究代表者・相田利雄 法政大学名誉教授）を財源として行った。研究成果の一部は高崎経済大学経済学会研究会（2013年12月）で発表したほか、2014年度中に法政大学大原社会問題研究所のワーキングペーパーに公表される予定である。	
②研究成果の発表	
・本年度の主な研究成果は下記のとおりである。	
(論文等)	
永田 瞬「グローバル化時代の繊維産業集積の課題：三備地区の事例を中心に」『中小商工業研究』116、2013年7月。	
永田 瞬「地場産業の社会的分業構造と専門業者の技能・技術の特質」法政大学大原社会問題研究所編『持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究』Vol.2、2013年4月。	
(事典等)	
永田 瞬「鉄鋼業・造船重機産業」法政大学大原社会問題研究所編『日本労働年鑑83集』旬報社、2013年6月。	
・本年度は生活環境が大きく変わったこともあり、学会報告などの研究活動を行うことができなかった。生活環境を整えつつ、研究成果を発表できるよう、準備を進めたいと考えている。	
(2) 教育：合同ゼミナールとフィールドワークの実施	
①3大学合同ゼミナールの実施	
・2013年12月に岐阜大学、名城大学との3大学合同ゼミを行った。基礎演習の受講者が10月からおよそ2ヶ月間で共同論文を執筆し、互いにフルペーパーを読了したうえで	

当日の合宿に臨んだ。タイトなスケジュールではあったが、受講生の学習意欲の高まりや、学生間交流も進み、成果があったといえる。

②群馬県内フィールドワーク実施

・基礎演習の受講者が事前に文献調査を行ったうえで、2014年2月に群馬県太田市、大泉町の現地調査を行った。富士重工群馬工場の工場見学を行ったほか、太田市役所、太田商工会議所、大泉町観光協会などを訪問し、学生自らインタビューを行った。

・以上の演習での学習内容は、2014年度中に『永田ゼミ活動報告集』としてまとめる予定である。

2 その他の事項

(1) ラジオ高崎ラジオゼミナール出演 (2013年8月31日・9月7日放送)

(2) 「非正規労働者増加と対応策 識者2氏インタビュー」『読売新聞』2013年5月18日付 (群馬版)。取材協力と記事掲載。

http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/gunma/feature/maebashi1367938787534_02/news/20130517-OYT8T01665.htm

(3) 「ブラック企業対策」『上毛新聞』2014年2月11日付。取材協力と記事掲載。